

OMNIBUS

大阪医科大学図書館報 / 大阪医科大学附属看護専門学校図書室報

C O N T E N T S

ワーク・ライフ・バランスのすすめ〔佐浦隆一〕	2
黙して、励め他〔田中克子〕	3
新米ワーキングマザーの奮闘を支えた1冊の育児バイブル〔田代マツコ〕	5
出張報告〔宮本〕	6
本学教職員著作寄贈	7
お知らせ	7
図書館業務日誌	8
編集後記	8



暫（歌舞伎）

ワーク・ライフ・バランスのすすめ

佐 浦 隆 一

ワーカホリック（仕事中毒）とは働き過ぎを揶揄する言葉であり、生活の糧であるはずの仕事に私生活を犠牲にして打ち込んでいる状態を指す。末期的には家庭を顧みず、自身の健康も省みず、拳句、過労死に至ることすら厭わないという事態に陥ってしまう。

その対策として、ひとつ「働き方」を変えてみよう「カエル！ジャパン」キャンペーン（仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）推進のための国民運動）が官民を挙げて展開されている。



このワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）とは「国民一人ひとりがやりがいや充実感を持ちながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活などにおいても、子育て期、中高年期といった人生の各段階に応じて多様な生き方が選択・実現できること（仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）憲章）」であり、その活動を通じて（1）就労による経済的自立が可能な社会、（2）健康で豊かな生活のための時間が確保できる社会、（3）多様な働き方・生き方が選択できる社会の実現を目指している。

また、平成18年には財団法人社会経済生産性本部が、毎年11月23日（勤労感謝の日）を仕事以外の生活の重みも改めて認識し、全体としてバランスのとれた生活を送ることが重要であると再確認するための日（「ワーク・ライフ・バランスの日」）に設定している。

これらの取り組みは、ワーク・ライフ・バランスの実現が組織の福利厚生に終始する単なる「コスト」ではなく、組織の活力の源泉となるべき人材の確保・育成・定着の可能性を高める「明日への投資」であり、人々がこれからの時代を生き抜き、充実した人生を送っていくためにもワーク・ライフ・バランスの実現に積極的に取り組んでいくことが大切であるというメッセージである。

しかし、これまでの自分の生活を振り返ってみるとどうであろうか？。ワーカホリックであることは衆目の一致するところであり、ワークはあってもライフはなく、健康で豊かな生活のための時間が確保できているといえない。ワーク・ライフ・バランスは「明日への投資」であることは十分わかっているが、働いても働いても豊かになれない一種の「ワーキング・プア（時間貧乏）」である。

この時間貧乏は単に時間が不足していることだけでなく、その問題は根深い。時間貧乏に陥ると、目先のことに忙しくなりすぎて戦略が不在なため、長期的な取り組みができないばかりか、結果として大きくなった問題から逃避するために目先のことで自分をさらに忙しくしてしまうという隘路に嵌り込んでしまう。身につまされる話である。

多くの日本人は自分に対しても他人に対しても時間の使い方に無頓着であり、それが日本全体の「時間貧乏」を招いていると指摘されている。例えば、週当たりの労働時間が50時間以上の労働者割合はヨーロッパでは殆どの国が7%未満であるが、日本では28%に達する（平成18年度版国民生活白書）。これは働き過ぎの弊害が広く知られているだけでなく、ヨーロッパでは短い労働

時間の中で高い成果を生み出すことが良いことであるという価値観が根付いているためである。

私たちは普段の生活でお金をケチる習慣はあっても、時間をケチることには無頓着である。より良い人生を過ごすためには、エネルギーや資源の節約を心がけるエコロジーを労働時間にも適用し、労働時間の無駄遣いを減らすことも大切である。

「時は金なり（ベンジャミン・フランクリン）」とは箴言である。過労死せず長生きするために、また「明日への投資」を行うために「今、何をしている？」との自問自答を繰り返し「今」を意識することで、失われていく時間を少しでも価値のあるものに変えてワーク・ライフ・バランスを実現したいと思う。

連絡先

大阪医科大学総合医学講座リハビリテーション医学教室

〒569-8686 高槻市大学町2-7

TEL：072-684-7237 / FAX：078-684-7238

E-mail：saura@poh.osaka-med.ac.jp

(さうら・りゅういち リハビリテーション医学教室教授)

書評

『「黙して、励め」 病院看護を拓いた看護修道女たちの19世紀』

シオバン・ネルソン 原田裕子 訳 日本看護協会出版会

『専門職看護の歩み』

グレイス デロウリイ著 千野静香 他 訳 日本看護協会出版会

田中克子

看護は、もっとも古い女性の職業であり、宗教的な信仰に基づく領域からはじまったものであることが、古代より看護がめんめんと続いてきた基盤を作り、さらに看護が専門職へと発展してきたことにつながっている、という事実を知ることは、ある種驚きでもある。

歴史を振り返ると看護の中心的役割を担ってきたヨーロッパ、アメリカでは、修道女であり、長い間、訓練も準備もされなく、病をもった人の世話をしていたと著者は述べている。しかし、その実際は、決して劣悪なばかりではなく、訪問看護、ターミナルケア、特に精神面に優れた看護が行われていたことが伺える。修道女として、入信するためには一定の条件を満たさなければならなかったこと、一人前の修道女になるには所属する教会で厳しい修行を必要としたこと、さらに宗教の一機能であった看護活動にプライドをもち教会が培ってきた看護教育を受けていたことが、高いレベルの看護を実践したのであろう。

話は脱線するが、「修道女」と「看護」という関係を読んだ時に、思い出したのが「尼僧物語」（オードリー・ヘップバーン主演）という映画である。この映画の中で主人公は、一人前の尼僧になるために厳しい修行に耐えた。さらにアフリカで尼僧としての活動を実現するために、医師の父から医学の手ほどきを受けていた主人公は、修道院で厳しい勉学（まさしく看護職者としての勉学）を修了し、念願のコンゴに派遣され活動を行った。時代背景は異なるにせよ、今、映画を見てもこの主人公のコンゴでの働きはまさしく優秀な看護職者そのものである。主人公が受けた修道院の教育レベルの高さは容易に想像できる。



話を戻して、宗教の一機能であった看護活動を、ナイチンゲールは看護を宗教から切り離し、献身と倫理を併せ持ち、経済的に自立し知識と技術を要する職業であるとの理念を築いた。宗教と切り離して女性の職業として看護が誕生することによって、看護が専門職へと大きく発展したことは、ナイチンゲールの大きな功績であるといえよう。しかし、ナイチンゲールの功績が開いたのは、それまで培ってきた修道女たちによる黙々とした働きが基盤としてあったことを忘れてはならないと著者は述べている。それに加えて、当時の社会背景として、女性の政治、社会、経済、教育などの自由が解放されつつあったことも要因であろう。しかし、看護は、宗教的な信仰に基づく領域からはじまったことから尊く、敬われるべき仕事であることが周知されている一方、女性が主体であるため献身を強いられてきたことも事実である。

歴史を振り返ると、修道女たちは誠に勇敢で、チャレンジ精神が旺盛であり、自立していることが垣間見える。例えばアメリカの有名なメイヨー・クリニックの病院開設の契機は、資金を集め病院を所有していた聖フランチェスコ女子修道女が、1883年大規模な竜巻時のけが人の手当てのためにメイヨー兄弟医師に協力関係を依頼したことである。このように、実際に多くのけが人を助けようと主体的に働いたのは修道女であるが、修道女たちの看護における功績の多くが残されていない事実は、非常に残念なことであると筆者は述べている。ナイチンゲールと同様に、修道女たち、日本においては仏教徒たちが、自らの行動や考えを言葉として残していれば、どうであっただろうか。看護学の発展に大きく寄与したのではないだろうか。

しかしながら、新大陸アメリカにわたって、人々のニーズを把握しそれを解決するために資金集めから、人材集めまですべてのことをやり遂げる修道女たちの能力の高さを、われわれは見習うべきである。アメリカが看護学教育に先駆的働きをなしたのも、このような先人たちの培ってきた基盤があつたことだと考える。

専門職として看護は、戦争、産業革命、近代科学、保健の発達、女性の解放等の背景にして、大きく発展してきた。これから先も常に、社会に生きる人々のニーズにあつた看護を提供するものとして、どのような環境にあつても、先人たちのように大いなるプライドとチャレンジ精神をもち、大胆かつ繊細な行動力を発揮することを恐れてはならないと考える。

(たなか・かつこ 看護学部開設準備室・教授)

新米ワーキングマザーの奮闘を支えた1冊の育児バイブル

田代 マツコ

今から約4年前、私は新米のワーキングマザーとなりました。出産という喜びも束の間、現実には妻まじい生活の連続でした。産後2ヶ月から仕事に復帰するということがどういうことになるのか、夢のような想像しかしていなかった私にはとても耐え難い現実でした。出産前の私は、ただ単に今までの生活に「育児」が増えるだけだから、忙しくなるだろうけど頑張ろう！…くらいにしか考えていませんでした。そんな甘い考えだった私に押し寄せてきたのは、「マタニティーブルー」でした。産後は体内のホルモンバランスが急激に変わり、その変化が自律神経系に影響を及ぼし、出産時のストレスや育児に伴う心理的・肉体的疲労と重なり、うつ状態に発展することがあります。もちろん、産後の経過も様々で、その様なことを体験することなく見事にワーキングマザーをこなす方もありますが…。その時は、何に対しても辛い感情が湧き出てきてしまい、理想的な仕事と育児の両立ということが程遠い現実でした。いったい自分に何が起きているのだろう…、これからどうしていったらいいのだろう…、いっぱい・いっぱい悩みました。職場の方々に支えられながら、1日1日をこなす事に必死でした。

そういう現実の中でしたから、自分の精神状態が不安定なままどう子どもと向き合えばいいのだろう…という子育ての悩みももちろん抱きました。そこで、真夜中にインターネットのブログをみたり、育児書など…など…を探したりしました。そして何冊かの育児に関する書物に出会いました。その中でも、子育てどころか、私の気持ちまでを癒してくれたのは、整形外科・心療科の医師である石田勝正先生の『抱かれる子どもはよい子に育つ』（PHP文庫）でした。その本には、へその緒を切られた赤ちゃんは将来一人の人間として自分の存在に自信を持って生きていかねばならない。そのために一番大切なことは「自分が自分である」という感覚をはっきりとつかんでいることである、つまり「存在感」であると書かれていました。そして、その存在感を獲得していくには、「母親に抱かれている自分」として、自分の存在に対する自信を持ち始めなくてはならないそうです。生まれたばかりの赤ちゃんはあまりにも無力であるため、保護してあげることが必要であり、赤ちゃんはまずは「母親に抱かれるためだけに生まれてくると」述べられていました。その本には、育児に関することだけでなく、人の心の根底に必要なことが多く書かれていました。その本を読んだ時、私ははっと目が覚めた感じでした。「抱き癖がつく」という言葉を耳にすることがありますが、この本を読んでからは、何も考えず、何も心配せず、「大丈夫だよ～」と心の中でつぶやきながら、時間をかけて子どもを抱くようになりました。おかげで、上腕二頭筋がマッチョになりましたが（笑）。そんなこんなで…過ごしているうちに、ホルモンバランスも安定してきたのか、精神的にも落ち着くことができ、仕事と育児の両立がますます…できるようになりました。

私を支えたその本は、なんと手元に3冊もあります。自宅用…、カバン用…、そしてお節介にも他の人への紹介用…という具合に、増えてしまいました。この原稿を書きながら、久しぶりに読み返し、忘れかけていたあの時の気持ちをまた思い出しています。働く女性が増え、ワーキングマザーもたくさんいます。そんな方にご紹介したい1冊です。そして、母親だけでなく、まわりでサポートしている父親にも育児バイブルとしてぜひ読んで欲しい1冊です。

(たしろ・まつこ 看護専門学校教員)

第80回NPO法人医学図書館協会総会

宮 本

平成21年7月6日（月）～7日（火）、埼玉県和光市の国立保健医療科学院において、第80回NPO法人医学図書館協会総会が開催され、河野図書館長と共に参加しました。

7月6日（第1日）

館長・司書会議＝分科会【セッション1】

- A 機関リポジトリ：今後の展望
- B 医療・健康情報サービスをめぐる公共図書館との連携

館長・司書会議＝分科会【セッション2】

- C ヘルスサイエンス情報のプロ育成と発展のために
- D 電子ジャーナルの購読を考える

7月7日（第2日）

通常総会

基調講演「医学図書館および医学図書館協会の再点検」

NPO法人医学図書館協会前会長関西医科大学解剖学第一講座教授 山田久夫

平成20年度協会賞・奨励賞選考結果発表と記念発表講演

議題審議

平成20年度評議員会への会長諮問及び答申報告

平成20年度事業報告

平成20年度決算報告・監査報告

平成21年度事業計画

平成21年度予算

理事会提案議題

- 1) 第81回以降の総会運営について
- 2) 第81回総会終了後の中央事務局運営について

本総会は平成21年5月28日～29日に大津市で開催予定であったが、同市において新型インフルエンザの感染が確認されたため開催中止となった。その後に日時会場を変更して、本会が開催されました。

理事会提案議題の2題が議題審議では重要審議事項であった。1)の「総会運営について」は、開催地を協会事務局の所在地東京とし、向こう3年間試行し総会運営方法を完成させることとなった。2)の「中央事務局運営について」は、業務委託提案が提出されたが論議を経て本提案は撤回され、精査した上で再度提案される事となった。

総会のあり方については「議題審議評議員会への会長諮問及び答申報告」において述べられ、規模の縮小と運営方法の見直し、また担当する地区会及び担当機関の負担軽減が課題となっており、本総会はその実現のためのモデルケースとなった。

(みやもと 図書館課長代理)

本学教職員著作寄贈

(平成21年5月～平成21年10月分)

竹中 洋 先生（学長） 寄贈日：2009年7月3日

気道アレルギーの成立とその制御／竹中 洋著 2009.5 竹中 洋

清金 公裕 先生（名誉教授・前皮膚科学教授） 寄贈日：2009年7月3日

清金公裕教授退職記念教室業績集／大阪医科大学皮膚科学教室 2009 大阪医科大学皮膚科学教室

本学泌尿器科学教室 寄贈日：2009年7月3日

大阪医科大学泌尿器科学教室開講50周年記念誌／大阪医科大学泌尿器科学教室 2009 大阪医科大学泌尿器科学教室

黒岩 敏彦 先生（脳神経外科） 寄贈日：2009年8月31日

図解脳神経外科／黒岩敏彦 [ほか] 編著 2009.8 金芳堂



1. 図書館資料の返却期限日の変更について

インフルエンザの流行等により学年閉鎖等の措置がとられた場合は、図書館資料の返却期限日を変更いたします。

該当者が借り出し中の資料の返却期限日が閉鎖期間中にあたっている場合、返却期限日は閉鎖解除日まで延長します。

2. ご注意ください

図書館資料の館外への持ち出しには借り出し手続きが必要です。カウンターにて必ず手続きをしてください。

なお、未製本雑誌（主に新着）は、午後4時から翌開館日の午前11時まで館外への持ち出しが可能です。

3. 図書館への図書資料購入希望についてのご案内

図書資料購入希望を出されるのには以下の方法があります。

- 学内書店神陵文庫内の、コーナー備付の購入希望カードに記入し、書店内のボックスに投函する。
- 図書館ホームページの「所蔵目録検索と学内限定各種サービス・申込」ページにはいり、所定のフォームから申し込む。
- 図書館内入口横の「リクエストコーナー」に備え付けの資料購入希望用紙を利用する。

図書館業務日誌

平成21年 7月

- 2日(木) 精華中学校2年生当館見学
6日(月) アムール医科アカデミー学生・
教員当館見学
6日(月)～7日(火)
日本医学図書館協会総会 館長・
館員参加(於、国立保健医療科
学院)
10日(金) リコー図書館システムセミナー
館員出席(於、梅田センタービ
ル)
14日(火) 大阪府立大学羽曳野図書センタ
ー及び、兵庫県立大学明石学術
情報館に館員訪問見学
16日(木) 医学中央雑誌ユーザー会 館員
出席(於、新大阪ワシントンプ
ラザ)
27日(月) 図書館合同運営委員会・P D C
A委員会(於、図書館館長室)

9月

- 1日(火) 富士通図書館セミナー 館員出
席(於、富士通関西システムラ
ボラトリ)
2日(水)～4日(金)
文部科学省著作権講習会 館員
参加(於、京都大学)
11日(金) 日本看護図書館協会第4回教
育・研修委員会(於、図書館館
長室)

- 16日(水) 公私立図書館コンソーシアム版
元説明会 館員参加(於、大阪
府立大学)
24日(木) 本学看護学部受験校関係者当館
見学
25日(金) 日本医学図書館協会電子ジャー
ナル説明会 館員参加(於、大
阪市立大学)
28日(月) 図書館合同運営委員会・P D C
A委員会(於、図書館館長室)

10月

- 1日(木) アルバートアインシュタインメ
ディカルセンター研修医等当館
見学
21日(金) 日本看護図書館協会第5回教
育・研修委員会(於、図書館館
長室)
23日(金) ハワイ大学医学部関係者当館見
学
23日(金) 三大学医工薬連環科学教育研究
機構第1回運営協議会 館員出
席(於、関西大学)
26日(月) 図書館合同運営委員会・P D C
A委員会(於、図書館館長室)

11月

- 24日(火) 図書館合同運営委員会・P D C
A委員会(於、図書館館長室)
27日(金) 日本医学図書館協会近畿地区例
会(於、本学第1会議室)

編 集 後 記

今回の巻頭言はリハビリテーション医学教室佐浦隆一教授に記事をお願いしました。表紙のカットは職員OBの鈴木豊明氏にお願いしましたところ「暫」という題でいただきました。

皆様からの投稿記事を歓迎いたします。OMNIBUS に対するご意見もお寄せ願います。(宮本)

OMNIBUS「大阪医科大学図書館報／大阪医科大学附属看護専門学校図書室報」

No.36号 2009年12月15日 発行

編集・発行 大阪医科大学図書館

〒569-8686 大阪府高槻市大学町2-7

TEL (072) 683-1221

(内線2799, 2621)

印刷 大日本印刷株式会社